

愛ちゃん と 希望くん



やわたはま

# 社協だより

# 81

令和元年8月1日

《発行》社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 八幡浜市松柏乙 1101 番地

八幡浜市保健福祉総合センター2階 TEL 23-2940 FAX 23-0506

ホームページは [八幡浜市社協](#) まで



愉快的仲間であいヨガ「元気だ！元気だ！八幡浜！」



## 第32回 福祉のつどい 新たな出発 出会い ふれあい 笑顔と感謝 町も人もみんなが元気！

令和元年6月2日(日)10時～15時、新町ドーム及びその周辺にて、「第32回福祉のつどい」を開催しました「主催…八幡浜市社会福祉協議会(以下、市社協)・八幡浜市ボランティア協議会」。当日は、小雨の降る天気となりましたが、約2000名に集まりました。

第32回のテーマは「新たな出発 出会い ふれあい 笑顔と感謝」町も人も みんなが元気！」。新年号への期待と、地域一丸となり「八幡浜市を元気にしていこう！」という思いでの開催となりました。

オープニングでは、恒例となっている川之石高等学校書道部による書道パフォーマンスが披露されました。力強い演技と「故郷の景色 笑顔」と綴られた書を一目見ようと開始から多くの方が集まりました。ステージでは、市内で活躍するボランティア団体による紙芝居や手話コーラスなどの他、今年は、白浜保育所の年長組による歌とフラダンス、西予市野村町から笑いヨガ講師を招いて、会場全体で笑いヨガを行うなど多彩なプログラムが繰り広げられました。ドーム内、周辺アーケードでは、ボランティア団体、地域活動団体による26のブースが広がり、商店街を賑わせました。

## ブース盛りだくさん！ 体験コーナーでスタンパ ラリーも

ブースでは、手話、朗読、点字、車椅子、バルーンアート、プラバン作り、消防・警察車両の展示、ふれあい餅つきを行い、子どもから大人まで、スタンラリーを楽しみながら体験をしました。市内で活動されているボランティアに教わりながら、簡単な手話を覚えたり、点字で名刺を作ったりと、ふれあいの機会となりました。食品販売や施設による手工芸品販売も多くの方で賑わい、早々に売り切れるブースもありました。



点字名刺づくりを体験

りました。休憩所として毎年お借りしているナカジマビルでは、ふれあい・いきいきサロンの協力により、普段の活動で製作している作品を展示しました。ハーバリウムや押し花のランチョンマット、編み物、絵葉書、小物など様々な作品が休憩所を飾り、訪れた方の目を喜ばせました。

## “みんなが元気！”

ステージでは、紙芝居や手話コーラスの他、しゃぼん玉ショーや合唱、ハンドベル演奏などが披露されました。福祉のつどいで披露することが活動の楽しみの一つとなっています。今回初参加の白浜保育所の年長組による歌とフラダンスもありました。元気いっぱい  
の歌声と可愛らしい踊りは、来場の方々の顔を自然とほころばせました。終盤では、会場を巻き込んだプログラムが続きました。西予市野村町の笑いヨガ講師 羽浦 菅氏と笑いヨガ仲間による『愉快な仲間で笑いヨガ』では、『すもうであいさつ』『チキンダンス』など言葉に合わせて体を動かしながら、皆で大いに笑いました。笑いヨガは、笑いによる健康づくりを目的とした体操です。羽浦氏は、「第32回を迎える歴史あるイベントに参加できて光栄。



多くの来場者で賑わうアーケード

八幡浜の方が温かく、皆で笑いヨガをすることができて良かった」と語りました。続くフォークダンス愛好会によるダンスでは、会場の皆で三重にもなる円を作り、踊りました。『花は咲く』『オクラホマミックス』の踊りは恒例になりつつあり、輪に加わる方も年々増えています。ステージの最後を飾る八幡浜心身障害者(児)団体連合会による合唱でも、会場全体で『ふるさと』を合唱しました。足元の悪い中で開催された福祉のつどいも最後まで多くの方が訪れ、盛況のうちに終えることができました。

## フードドライブへのご協力 ありがとうございました！

フードドライブは、家庭にあるもつたいない食品を寄付いただき、生活に困っている家庭や福祉団体へお届けする取り組みです。当日は、市内外より約30名の方に、約300点の寄付をいただきました。市社協では、八幡浜市より自立相談支援事業を受託し、年間100件を超える相談を受けています。寄付食品は、「お金がない」「しばらく何も食べていない」という当事者の安心につながっています。フードドライブ、食糧支援に関することは、市社協地域福祉課(☎23-2940)までご連絡ください。



寄付で集まった食品

# 第1回ふれあい・いきいきサロンお世話人研修会 和気あいあい!! 「あなたのサロンでは何してる?」

令和元年6月20日(木) 13時半よ

り、八幡浜市民スポーツセンターサブリナーにて、ふれあい・いきいきサロンお世話人研修会を開催しました。当日は市内61ヶ所のサロンから159名のお世話人さんが参加しました。

最初に、はつらつ介護予防体操すめ隊の皆さんと、参加者全員で『はつらつ介護予防体操(上半身編・下半身編)』を行いました。普段サロンでも取り組んでいるため、皆さん歌を口ずさみながら、しっかり身体を動かしま



出席いただいた講師の皆さん

した。

ふれあい・いきいきサロンでは、介護予防やレクリエーションなど多分野の講師の協力を得て、各サロンで出前講座を行っています。この日、8名の講師にも出席いただき、お世話人さんと顔を合わせることができました。

今回の研修会では、それぞれのサロンの取り組みを紹介し親睦を深めてもらいました。まず、サロン活動の中で手芸品などを作成したサロンには、作品を持ち寄ってもらい、紹介しました。



15のグループに分かれて意見交換



ずらりと並び、色とりどりの作品たち

そして、グループに分かれて、意見交換を行いました。作品作りの他にも、脳トレや体操で介護予防に取り組んだり、料理や食事、年に一回は外出をしを和気あいあいと話し合いました。

## 八日市でサロンができる!

新町商店街振興組合の八日市管理をされている宮川知也 氏を招き、サロンでも作品の販売や展示、お接待などで八日市に出店できることを説明していただきました。宮川氏もサロンの作品や笑顔の絶えない交流の様子を実際に目にして、一緒に活動できることを楽しみにしていました。サロンの方も、八日市に出店という形で参加する

ことで、サロン活動や地域を盛り上げていけたらと、夢が広がりました。これから、出店に向けて準備を進めていく予定です。

### 参加者の感想

- ・ いろいろなサロンとお話ができて良かった。
- ・ 展示作品が素晴らしかった。アイデアや作品を作る根気に敬服。
- ・ 各サロンの人たちと交流ができ、親しくなれて良かった。
- ・ 高齢化は今後の課題だが、高齢者だからできることもあるはずと前向きな意見もあった。
- ・ 各サロンいろいろ工夫しておられ、参考になった。



八日市について話す宮川知也 氏

八幡浜市社協まごころ銀行 預託のご報告  
**まごころの輪が個人・団体・企業に広がっています**

八幡浜市社協では、皆様の善意(現金、食べ物、物品等)を預かり、サロンや給食サービス等の福祉活動への支援や生活に困っている世帯へ食品をお届けするなどの取り組みを行っています。

日野出畜産有限会社様(八幡浜市日土町)から、ぬくもりある木のおもちや9点を、株式会社伊予銀行様の「ふるさと応援私募債「学び舎」」を通じて寄附していただきました。サロン等で活用しています。子ども、親、高齢者の皆さんが夢中になって遊んでいます。

公益法人八幡浜法人会青年部様からは、カレーとサバ・イワシの缶詰を寄付していただきました。昨年度に引き続き、福祉のつどいの収益金を活用しての寄付です。生活に困窮している方へお届けし、生活の困りごとを乗り切る気持ちを取り戻すきっかけとなっています。

引き続き市民・団体・企業の皆様の善意をお待ちしています。まごころ銀行については、市社協地域福祉課(☎23-2940)まで。



伊藤部長(写真左)  
「取り組みがひろがってほしいです」



子どもにいちばん人気「タンブルカー」

**生活のしづらさの解決に向けて・・・**  
**生活福祉資金貸付制度(福祉費)と住居確保給付金事業のご案内**

生活福祉資金貸付制度は、所得の少ない方や高齢者、障がい者等の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした制度です。

◎ **福祉費** …… 日常生活を送る上でまたは自立生活を資するために一時的に必要な費用の貸付

資金の目的	貸付上限額	貸付対象
災害を受けたことにより臨時に必要な経費。	<b>150万円</b>	・被災した住宅の復旧及び家財購入。 ・主たる生計手段である田畑、工場、倉庫等の復旧。
住宅の増改築、補修等及び公営住宅の譲り受けに必要な経費。	<b>250万円</b>	・住宅の増築、改築、拡張、補修、安全のために必要な経費。(災害による住宅等の復旧も貸付対象)
住居の移転等、給排水設備等に必要な経費。	<b>50万円</b>	・転居における初期入居費用等(敷金、礼金、前家賃、家具等の運送費)
日常生活上一時的に必要な経費。	<b>50万円</b>	・生活必需品等購入のための費用(エアコン・家電製品等)

◎ **住居確保給付金事業**

離職等により経済的に困窮し、住宅を喪失した、または喪失する恐れがある方に対し、家賃相当分の費用を支給するもの。対象は65歳未満であって、かつ、離職等の日から2年以内であること。

※ 自立相談申込及び就労支援等を受けることが必要となります。

まずはご連絡ください。  
 電話、訪問、来所等、ご希望の方法で対応します。  
 市社協 地域福祉課  
 ☎23-2940

# 第7回 赤い羽根共同募金 チャリティパーティーを開催します！

八幡浜市共同募金委員会では、みなと交流館と共催で平成25年度より赤い羽根共同募金のチャリティパーティーを開催しています。今年度も、7回目のパーティーを開催いたします。

日頃から八幡浜市の共同募金運動にご協力いただいている皆さまに感謝の気持ちを含めて開催し、昨年同様、収益金の一部は赤い羽根共同募金へ寄付します。興味を持っていただいた方は、ぜひご参加ください！

- 日時** 令和元年8月31日(土)
- 時間** 18:30~20:00
- 参加費** 2,500円
- 参加対象者** 事前にパーティー参加券を購入していただいた方
- 主催** 八幡浜市共同募金委員会  
みなと交流館

過去6回のチャリティパーティーで、  
総額 **1,172,789**円を  
赤い羽根共同募金へ寄付することができました。

お問い合わせ先  
市社協地域福祉課(☎23-2940)



上協代表の声かけで集まった  
素敵な笑顔のメンバーの皆さん

千丈地区では、平成27年度に第二層協議体が発足して以降、年2回地域全体で集まり、地区別に近況や気になることなどを話し合っています。見えてきた課題から、移動スーパードラッグやサロン同士の交流など、具体的な活動につながってききました。  
令和元年6月10日(月)、上協代表を支えたいと集まった仲間(給食ボランティア等)で『下ごしらえの会』を立ち上げました。生活の中での気付きや想いを形にしていくなために話し合っていきます。

## 千丈地区第二層協議体 『下ごしらえの会』始動!!



時間いっぱい話し合う

平成30年度に、川上地区にてアクティブランチア養成講座を開講しました。たくさんの方にお集まりいただき、自分のこと、地域のことを改めて考える機会となりました。  
令和元年6月28日(金)、講座の修了生を中心に、地域の課題やニーズと向き合い考えていこうと、愛媛大学の前田眞先生を引き続き招いて、講座の振り返りから、話し合いをスタートしました。  
今後も、地域のことを考える場と機会を作っていきます。

## 川上地区でも集い、 話し合い

生活支援コーディネーター活動日誌  
私たちも考えています！街のこと、地域のこと

# 平成30年度 八幡浜市社会福祉協議会 事業報告

平成30年度の事業執行に当たっては、関係行政機関、各種福祉団体等の協力を得ながら、多岐に渡る福祉活動を本所・支所・事業所との連絡を密にし、それぞれの役割分担を明確にした上で、地域福祉の推進と在宅福祉サービス向上に積極的に取り組みました。

## 事業の実施状況

### A 法人経営の基盤整備の推進

- 理事会等各種会議の開催
- 八幡浜市社会福祉大会の開催
- 地区社会福祉協議会会長会の開催
- 地区社会福祉協議会の組織の充実と活動支援
- 社会福祉協議会の情報活動の促進
- 自主財源の確保と適正な運営
- 職員の研修・資質の向上

### B 地域福祉活動の推進

- 小地域ネットワーク活動の推進
  - ◆ ふれあい・いきいきサロン事業
  - ◆ ふれあい子育てサロン事業
  - ◆ 独居高齢者等見守りネットワーク事業
- 高齢者等福祉対策の推進
  - ◆ 給食サービス事業
  - ◆ 一人暮らし老人の集い事業
  - ◆ 三世代ふれあいの集い事業
  - ◆ 地域福祉普及向上事業
- 農福連携事業の実施
  - ◆ 養護老人ホーム湯島の里でのコミュニティ農園の準備
- 八幡浜市ボランティア協議会の活動促進・支援
  - ◆ ボランティア養成講座の開催
  - ◆ 手話奉仕員(ステップアップ編)
  - ◆ 朗読(音声訳)ボランティア(初級課程)
  - ◆ 点訳ボランティア(初級課程)
  - ◆ 点訳・朗読のことを見て・知って・体験する学びのバスツアー
- 第31回福祉のつどいの開催
- ボランティアグループ育成援助



- ボランティア活動保険等の加入
- ヤングボランティアの育成・啓発
- ボランティア・ワークキャンプ
- 福祉教育の推進
  - ◆ 盲導犬教室
- 共同募金運動の推進協力
  - ◆ 赤い羽根共同募金チャリティイベントの開催
- 母子・寡婦・父子福祉推進活動
- 心身障害者(児)福祉事業推進
- 障害者社会参加促進事業
- 生活支援体制整備事業の実施
  - ◆ 地域支え合い協議体の設置・運営
  - ◆ 新たな担い手の養成「アクティブラボランティア養成講座」
- 地域資源の把握・支援ニーズの把握、ネットワークの構築
  - ◆ (災害)ボランティアセンターによる平成30年7月豪雨への支援
- 八幡浜市地域支え合いセンター事業の実施
  - ◆ 介護予防・日常生活支援総合事業の実施
  - ◆ 通所型サービスA事業(健康クラブ・若草デイサービス)

### C 権利擁護の推進

- 八幡浜市権利擁護センター事業の実施
  - ◆ 推進協議会の開催
  - ◆ 研修会・会議(虐待防止セミナー、出前講座 他)
- 法人後見事業の実施
  - ◆ 法人後見事業検討委員会
  - ◆ 法人後見受任10件
- 福祉サービス利用援助事業の実施(契約15件)
  - ◆ 生活支援・相談活動の充実
  - ◆ 災害見舞金給付事業の実施
  - ◆ 緊急配分安定基金配分
  - ◆ 生活福祉資金貸付事業
  - ◆ 小口資金貸付事業
  - ◆ 心配ごと相談所事業
- 八幡浜市生活困窮者自立支援事業の実施
  - ◆ 主任相談支援員・相談支援員・就労支援員設置
  - ◆ 支援調整会議の開催
  - ◆ 研修会・勉強会等の開催
  - ◆ ネットワーク構築に向けた取り組み(就労支援から考える地域づくりを考える会参加、南予地域就労支援ネットワーク会議参加、食糧支援等に関する連携)

D 在宅福祉サービスの推進

- 指定居宅介護支援事業所
- 社協ヘルパーステーション八幡浜
- 社協ヘルパーステーション保内
- 保内町デイサービスセンター

- 介護保険事業の推進
- ◆ 居宅介護支援事業
- ◆ 訪問介護事業
- ◆ 通所介護事業
- 障害福祉サービス事業
- ◆ 居宅介護事業
- ◆ 同行援護事業
- 介護保険外・障害福祉事業の推進
- ◆ 生活管理指導員派遣事業
- 福祉用具貸出事業

E 施設サービス部門

- 養護老人ホームの管理・経営  
「湯島の里」
- ◆ 豪雨で被災した高齢夫婦の避難受入を行った。
- 「あけぼの荘」
- ◆ 豪雨で床上浸水。法人職員や地域住民、他施設の応援を受け、迅速な業務回復を図った。
- 中学生の職場体験受け入れ
- 八幡浜市と福祉避難所協定締結



あけぼの荘 保内デイサービスセンターで一時的避難へ



福祉教育 保内中学生とサロンの交流

# 収入

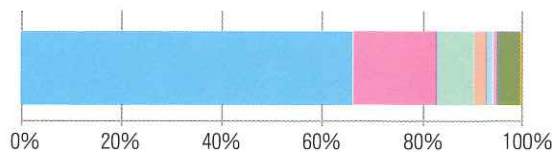
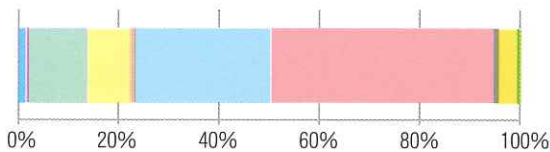
支入合計

463,767,046円

# 支出

収出合計

475,768,528円



■ 会費	6,539,985円
■ 寄付金	2,172,108円
■ 経常経費補助金	55,854,444円
■ 受託金	38,739,189円
■ 貸付事業	369,857円
■ 事業	3,908,400円
■ 介護保険事業	125,789,952円
■ 老人福祉事業	206,992,139円
■ 障害福祉サービス等事業	4,362,360円
■ 受取利息配当金	17,680円
■ 積立資産取崩	16,992,213円
■ その他の収入	1,371,717円

■ 人件費	315,975,077円
■ 事業費	78,165,614円
■ 事務費	36,296,038円
■ 利用者負担軽減額	179,087円
■ 貸付事業	522,070円
■ 共同募金配分金	11,594,114円
■ 助成金	6,451,746円
■ 固定資産取得	4,318,142円
■ 積立資金	22,266,640円

平成30年度  
八幡浜市社会福祉協議会  
決算報告

### 精神保健ボランティア養成講座



# 精神保健はまかぜスクール

当事者との交流や講座を通して、精神障がい者への理解を深め、互いに支え合い、安心して暮らせる八幡浜を目指す講座です。

受講  
無料

#### 日時

令和元年 9月30日(月)～令和2年1月9日(木)  
13:30～15:30(全5回)

#### 会場

八幡浜市保健福祉総合センター 4階 多目的ホール  
〒796-0010 八幡浜市松柏乙1101番地

#### 定員

20名程度 ※精神保健ボランティアグループはまかぜの皆さんも参加する予定です。

日 程	内 容
1 9月30日(月)	精神保健福祉の歴史
2 10月31日(木)	【当事者との交流】自分の住む街は暮らしやすいですか？ ～みんなで一緒に考えよう～
3 11月21日(木)	八幡浜市にはどんな精神障がい者の福祉サービスがあるの だろう？
4 12月16日(月)	グループワーク「今、自分たちが知りたいこと」
5 1月9日(木)	地域で暮らす ～これからの地域支え合い～

★ 王子共同作業所での体験実習(約2時間)※希望者のみ

【申込み】〆切:8月30日(金)

社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会

☎23-2940 FAX:23-0506